

A L P S 処理水希釈放出設備「測定・確認用設備」の循環・攪拌運転と
別系統の測定・確認用タンクの水位低下について

令和 5 年 3 月 23 日

福島県危機管理部

原子力安全対策課

A L P S 処理水希釈放出設備における「測定・確認用設備」については、
今月 17 日から、タンク B 群の循環・攪拌運転が開始されたところです。

このような中、20 日、東京電力から、循環・攪拌運転をしていない別系
統（タンク A 群）のタンクの水位が低下していることが確認され、原因と
して、タンク同士を繋ぐ電動弁の不具合により、タンク A 群の水がタンク
B 群に流入したと推定されると公表されたことから、本日開催した令和 4
年度第 8 回原子力発電所安全確保技術検討会において、その詳細な状況に
ついて説明を受けたところです。

A L P S 処理水希釈放出設備については、万全の信頼性が求められるこ
とから、東京電力に対し、次の点について対応をとることを求めました。

- 循環・攪拌運転をしていないタンク A 群のタンクにおける水位低下ト
ラブルについて、原因究明を徹底して行い、県民が安心できる再発防止
対策を講じること。
- 再発防止対策の検討に当たっては、今回のトラブルを水平展開し、同
様のトラブルが他のタンク群や設備で発生しないようにすること。
- 今回のトラブルも含め、発電所におけるトラブル発生時には、県や立
地町に対し、速やかに情報提供を行うこと。